

努力賞

フォークリフトの現地作業標準化による労働災害の防止と作業の効率化

[青 森 県 支 部]

トヨタ L & F 青森株式会社 サービス本部
成 田 司

【考案の動機】

フォークリフトを現地で点検整備する場合の作業手順を標準化し、逸走、激突、転倒はさまれ等の災害防止と作業の効率化を図る。

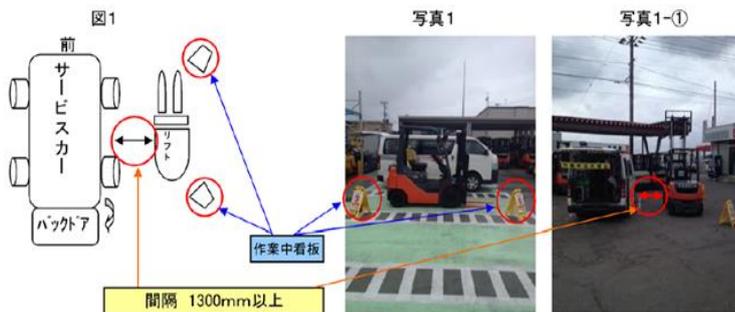
【考案の内容】

安全用具設置手順と作業条件を定めた。標準化を図るため、実際の作業手順を図、写真により判り易く示した説明書を作成した。

サービスカー・機台の配置及び作業中看板の設置方法とルール

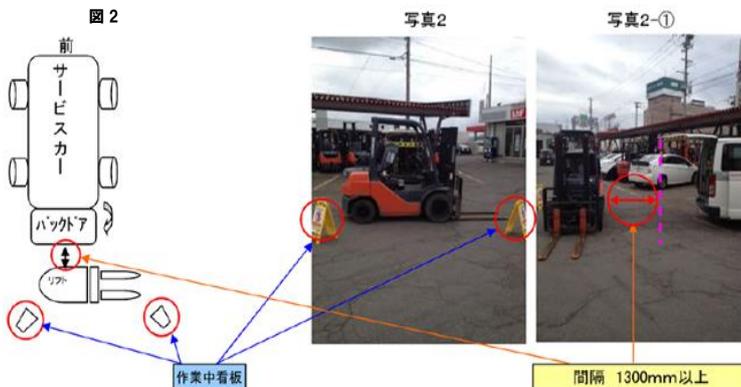
1. 作業時、サービスカーの右側へ機台を配置した場合・・・図 1、写真 1、写真 1-①

- ①作業中看板を機台前側及び後側へ斜めに 2 箇所、設置する事
- ②サービスカーから機台までは 1300mm 以上の間隔をとる事



2. 作業時、サービスカーの後側へ機台を配置した場合・・・図 2、写真 2、写真 2-①

- ①作業中看板を機台前側及び後側へ斜めに 2 箇所、設置する事
- ②サービスカーバックドア開口部から機台までは 1300mm 以上の間隔をとる事



3. バックドアを開口し作業を行う場合は必ず「作業中立入禁止」の表示を行う事・・・写真 3

- ①バックドアを閉める場合は「作業中立入禁止」の表示を元に戻してからドアを閉める事・・・写真 4

※強風の場合はバックドアを閉める事



【考案の効果】

メカニックのみならず、ユーザーのオペレーター等近隣作業者の注意喚起にもなり安全性及び安心感の向上につながった。